

綾部市公共施設等総合管理計画（案）に対する意見等の内容と市の考え方

NO.	該当施設など	提出意見等	意見等に対する市の考え方など
1	全体	<p>施設の老朽化状況を定量的に把握し、不具合が出る前に修繕を行う「予防保全型」の維持管理を徹底すべきです。</p> <p>また、施設の修繕基準を統一し、部材や設備の「標準仕様化」を行うべきです。</p>	<p>公共施設マネジメントの取組方針に記載している方針2のとおり、「事後保全型・対症療法型」の維持管理ではなく、長期的な視点で計画的に改修等を行う「予防保全型」の維持管理による長寿命化を進めていく必要があると考えております。</p> <p>その具体的な方策の中で、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
2	全体	<p>「総延床面積の約20%削減」という目標は、将来の人口減少スピード(50%減予測)に対して、まだ維持コストが過大になるリスクがあります。</p>	<p>今回掲げている目標は、市民サービスの維持・向上を前提に実現可能なものとして設定したものです。今後、人口の推移や施設の利用状況等を踏まえ、必要に応じて更なる取組を検討してまいります。</p> <p>いただきましたご意見を参考としつつ、公共施設マネジメントの取組方針に記載している方針3のとおり、行政サービスの水準や提供方法、施設のあり方等について検討を行ないます。</p>
3	全体	<p>すべての地区に均等に施設を配置するのではなく、東部地域などの人口減少が著しいエリア（▲32%）では、サービスを核となる場所に集約する「選択と集中」をより鮮明にすべきです。</p> <p>ハコモノ（施設）の維持を目的とせず、移動販売や移動図書館、オンライン行政サービスなど「サービスが自ら動く」形態への投資を優先すべきです。</p>	<p>上記と同様に、今後の更なる取組として、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
4	全体	<p>公共施設の運営や未利用スペースの活用において、民間のノウハウや資金を活用する「民間活力の導入」を標準化すべきです。</p>	<p>上記と同様に、今後の更なる取組として、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
5	全体	<p>地方公会計（固定資産台帳）を単なる記録ではなく、施設の「稼働率」や「市民一人あたりの維持費」を可視化する経営ダッシュボードとして活用すべきです。</p>	<p>施設の利用状況、老朽化の程度、維持管理コスト、代替手段の有無等を総合的に勘案し、必要な機能が確保されるよう検討してまいります。</p>